

# 大阪故鉄

## 諸福に放射線検知器

### 鉄スクラップ 品質管理を強化

鉄スクラップ加工販売大手の大阪故鉄（本社〓大阪市住之江区、矢追大祐社長）は、諸福工場（大阪府大東市）に放射線検知器を導入し、今月15日から本稼働させた。母材や出荷前のスクラップの品質管理体制を一層強化する。

新設したのはアック・デル製の放射線検知装置（スクラップモニター）「TDR-245」。車両で運ばれる積載物に混入した放射性物質を人手をかけずに

高感度で検知するもので、今年2月の工場拡張に伴って余裕が出たスペースを活用して設置した。

「鉄鋼メーカー向けに安全な鉄スクラップ

を安定供給するため強化にもつながる」(矢追社長)と話し、将来



導入した放射線検知器

的に全面リニューアルを目指す本社工場でも建て替えにあわせて導入を検討していくという。

大阪故鉄は1946年創業、52年設立の地区鉄スクラップ大手。事業拠点は本社・工場と諸福営業所・工場。諸福工場は老朽化などから深江工場を閉鎖したのに伴って98年に新設した。

ング、岡谷鋼機、建機

設現場用施工ロボット

幾各の車扱・居寸用「工」カ